

社会貢献教育

子どもたちが楽しみながら考え、 体験するプログラム

社会貢献教育とは、社会貢献について子どもたちが楽しみながら考え、体験する教育プログラムです。教室で完結する「疑似体験」型から、年間を通じて実体験をするものまで様々なモデルがあります。

大切なことは、子どものうちから

「自分の価値観で支援先を選択する楽しさ」

「支援することで達成感を得る感覚」を体感してもらうことです。

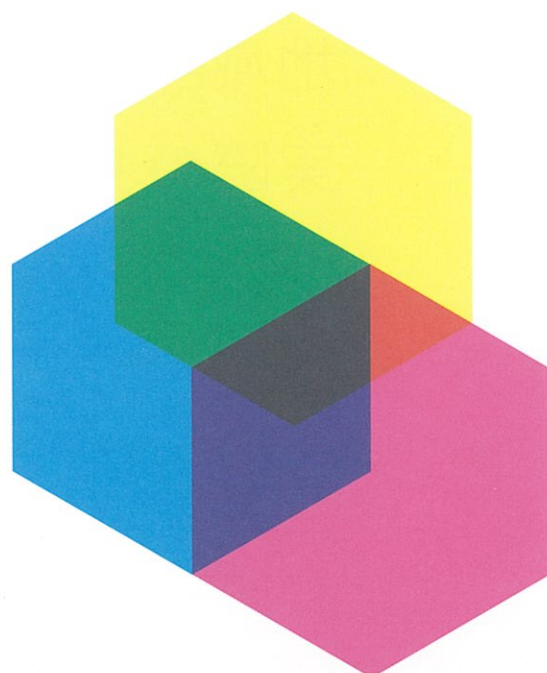
このことを通じて、自分にはこの社会でかけがえのない役割があるという

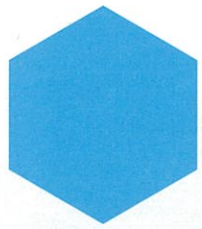
「自己肯定感」を養うことにつながることです。

また、社会貢献教育を通じて、

教科の枠を超えて地域と学校の相乗効果が生まれ、

子どもの人格的な成長にもつながる点は諸外国でも一般的です。





寄付を模擬体験する「寄付の教室」

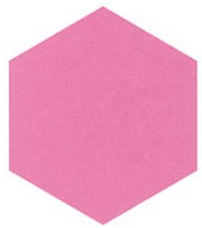
私たちは、大きな負担なく、どの学校でも実施できる「寄付の教室」という体験学習プログラムを開発し、140教室・4,400名以上の児童生徒に提供してきました。子どもたちが社会課題を知り、自らの価値観で社会的な活動を応援することの楽しさ、そして様々な価値観や考え方の違いを認識し、互いに助け合い、自分たちがベストだと考える応援方法を選択していくことの難しさや達成感などを寄付の模擬体験を通して学ぶ機会を提供しています。



- アイスブレイク
「NPOってなんだろう?」でNPOと寄付について学ぶ
 - NPOの活動紹介
ビデオとプレゼンで複数の団体を知る
 - 個人ワーク
「個人でどの団体を応援したいですか?」模擬紙幣で寄付先を選ぶ
 - グループプレゼン
各グループの発表を聞き、違いについて意見交換をする
- 主に小学校
2時限
- オプション:
一日モデル
実際にNPOにインタビューし、団体に成り代わって活動の魅力をクラスでプレゼン、生徒間で寄付投票する。
- フォローアップ学習
書き損じはがき集めや、チャリティコンサートの開催など、生徒主体の寄付集めの実践体験の実施など。

教科・領域:
総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム、生活科、道徳など
※さまざまな教科との連携が可能です。

使用教材:
・スライド
・ワークシート



社会に貢献することの意味や方法を知る、ワークショップ

『社会に貢献する Youth Philanthropy in Global Community』(日本ファンドレイジング協会、2015年)を元にしたワークショップ型プログラムです。社会貢献について国際社会でも通用する柔軟で幅広い考え方を鍛えることを目的に作成された本書には、4つのショートストーリーが掲載されています。プログラムでは、これらのショートストーリーを通じて、また自分の実体験を友人たちと話すことで、社会のいろいろな課題を遠いこととしてではなく、自分の身近にも起きうることとして考えてもらうことを最初の目標にしています。社会貢献や社会の課題に参加することについて、様々な視点から情報を学べるプログラムです。



教科・領域:
総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム、家庭科、社会(公民的分野)、道徳など
※さまざまな教科との連携が可能です。

使用教材:
・オリジナルハンドブック
「社会に貢献する」



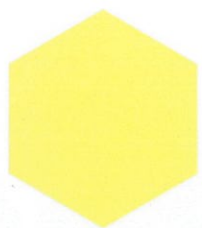
主に中学校
各1時限

【あなたにとって社会貢献とは?】
プラン(45~50分)

- アイスブレイク
「部屋の四隅アクティブクイズ」で社会貢献について学ぶ
- 社会貢献って?
「寄付とボランティア、人に役立った経験はある?」
- 個人ワーク
ここまでで社会貢献ってどんなイメージ
- 全体ワーク
隣の人と話してみよう、全員で経験を共有してみよう
- 個人ワーク
あなたが関心のある社会貢献は?
- 全体ワーク
隣の人と話してみよう、全員で経験を共有してみよう

【社会貢献はなぜ大切?】
プラン(45~50分)

- 身近な社会課題を考える。
4つの社会課題(災害・不登校・子どもの貧困・難病)のショートストーリーの中から一つを選んで、困難な状況になったときのことを想像し考える
- レクチャー
自助・公助・自助から社会貢献を考える
- 個人ワーク
社会貢献をみつけよう。
配られたものから社会貢献がどこにあるか探してみよう
- 全体ワーク
隣の人と話してみよう、全員で経験を共有してみよう
- 振り返り学習
自分はどんな課題に関心があるか、それはなぜかを考え、寄付・ボランティア・社会貢献を自由に表現してみる



地域課題を調べ、寄付先を決め、実際のお金を寄付する Learning by Giving

米国で展開されているプログラムで、Learning by Giving Foundationによる資金を基にして米国の大学生に寄付を託します。学生は大学の所在する地域のNPOに対し、実際に寄付をする体験を通じ、個人としての社会貢献の在り方や可能性について学びます。本プログラムは、米国Learning by Giving Foundationの協力のもと、日本独自のプログラムを作成して日本ファンドレイジング協会が提供するものです。



※日本でのプログラム実施にLearning by Giving Foundationからの助成はつきません。

- 単元1 社会貢献に関する日本の状況:
統計資料や各国比較などで日本の現状を把握
 - 単元2 非営利組織はなぜ必要なのか:
背景や非営利組織の役割を様々な資料から読み解く
 - 単元3 社会変革とお金の使い方:
寄付で何ができたのか/できるのか、最新の寄付動向などをゲストスピーカーを交えて学ぶ
 - 単元4 ファンドレイジングプランを作る:
自分たちで資金調達計画を立ててみる
 - 単元5 寄付先を決める:
寄付先をリサーチし、教室内でディスカッションを繰り返し寄付先を決める
 - 単元6 企業の社会貢献活動とは:
活動の実態についてゲストスピーカーを交えて学ぶ
 - 単元7 社会貢献とこれからのキャリア:
自分の人生と社会貢献について考える
- 主に高校
28時限
- ※単元は、およそ3時限で構成されます。
※年間を通じて行う

教科・領域:
総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム、家庭科、現代社会・公共など
※さまざまな教科との連携が可能です。



ご支援のお願い

日本ファンドレイジング協会では、子どもたちに寄付教育・社会貢献教育を届けるために「社会貢献教育サポーター」を募集しています。みなさまからいただく毎月のご寄付をもとに、全国の学校に教育プログラムを届けていきます。

1,000円あれば・・・2人の子どもに社会貢献教育プログラムを届けることができます。

毎月5,000円を1年継続すれば・・・1つの学校に社会貢献教育プログラムを届けることができます。※

※あくまで目安であり、金額によって異なります。

社会貢献教育サポーター

校長先生	5,000円/月
応援団長	2,000円/月
応援団	1,000円/月
LbGレジェンド	1,000,000円

※一口の金額

※弊協会へのご寄付は、税制優遇の対象となります。



実施校をご紹介下さい

日本ファンドレイジング協会では、社会貢献教育プログラムの実施を希望する学校を募集しています。

jfra@jfra.jp

まで、情報をご提供ください。

※情報提供頂きました後で、詳細内容などをお送りさせていただきます。

※準備の都合上、お申込みは実施希望日の2ヶ月前までをお願いいたします。

※ご寄付受付状況によって実施が難しい場合もあること予めご了承ください。



子どもたちの案内役 社会貢献教育ファシリテーター

社会貢献教育ファシリテーターとは、社会貢献に関するさまざまな教育プログラムを理解し、学校教育現場に社会貢献に関するプログラムを提供する案内役です。弊協会では年間を通じて全国各地で社会貢献教育ファシリテーターを育成する「社会貢献教育ファシリテーター研修」を行っています。研修を修了した後、学校や地域の場でプログラムを提供します。

※教員が実施することも可能です。

詳しくは▶ [社会貢献教育ファシリテーター](#) 🔍 検索